

令和 7 年 10 月 30 日

豊川市政記者クラブ加盟社 各位

豊川市行方不明高齢者搜索模擬訓練の 実施について

高齢化の進行とともに、豊川市においても認知症高齢者等による行方不明事案が発生する状況となっています。これに対して市では、地域の多様な団体や個人によって地域全体で見守りを行う豊川市高齢者地域見守りネットワーク（豊川市高齢者みまもり隊）を立ち上げ、平成 24 年 4 月から運用しています。

↓市HP内のコンテンツのURLです！

<https://www.city.toyokawa.lg.jp/soshiki/fukushi/kaigokorei/2/2/1/10/656.html>

このたび、このネットワークをより有効に活用するため、地域で活動されている方々にも参加いただいて、下記のとおり、行方不明高齢者搜索模擬訓練を実施します。訓練の主な内容は、行方不明高齢者への接し方や声かけをする際の配慮を学ぶ機会の提供や認知症のある方への理解の促進、ネットワークにおける情報配信システムの検証など、実際の搜索に近い形で行います。

訓練は、今年で 13 回目となりますが、今回初めて小坂井交番に協力いただき、声かけ訓練において行方不明高齢者を交番に連れていった際の交番での聴き取り内容や流れについて、実践形式で体験してもらいます。

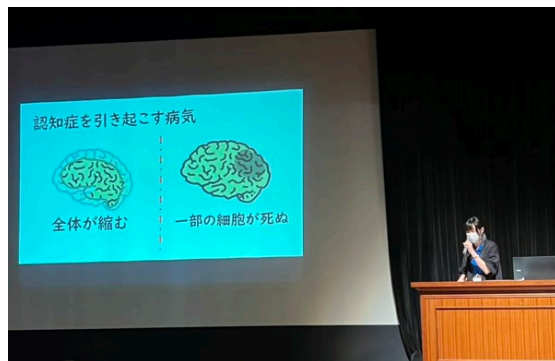
記

- 1 開催日時 令和 7 年 11 月 8 日（土曜日）午後 1 時 30 分から
- 2 会 場 こごかい葵風館
- 3 訓練概要 別添 豊川市行方不明高齢者搜索模擬訓練実施要領のとおり
- 4 実施地区 小坂井地区 別添 行方不明高齢者搜索模擬訓練範囲 概略図

【過去の訓練の様子】



福祉相談センター職員・豊川警察署職員による寸劇



認知症の理解を深めるための講座

【お問合せ先】

豊川市役所 福祉部 介護高齢課 地域包括ケア推進係 原田・浦
TEL:0533-89-3179 Eメール: zaitaku@city.toyokawa.lg.jp

令和7年度豊川市行方不明高齢者搜索模擬訓練実施要領

1 目的

認知症に関する地域の支援力向上を図るため、認知症等による行方不明を想定した行方不明者役を搜索する模擬訓練を、次に掲げる事項を目的として実施する。

- (1) 地域の支援者が行方不明者役へ声かけを行うなど、認知症のある人と接する際に必要な配慮を学ぶ機会を提供し、地域の支援者に認知症のある人への気づきと理解促進を図る
- (2) 認知症により行方不明となった者が発生した場合に備えて構築した、高齢者地域見守りネットワークにおける情報配信システムの検証
- (3) ネットワークへの情報の流れと関係機関等の役割確認
- (4) 見守りキーホルダー携帯時の対応及び見守りキーホルダーの周知
- (5) 居場所の検索ができるGPSの操作方法と位置情報の確認方法の周知

2 実施主体

豊川市福祉部介護高齢課

3 実施日

令和7年11月8日（土） 午後1時30分から午後4時15分まで
（訓練終了後の反省会含む）

4 実施場所

令和7年度実施地区 小坂井東小学校区(南部福祉相談センター小坂井出張所圏域)
出発・到着場所： こざかい葵風館

5 協力団体等

令和7年度協力依頼団体

豊川警察署、小坂井町内会、篠束町内会、宿町内会、白山町内会、新町町内会、茶屋町内会、八丁町内会、古当町内会、小坂井地区民生委員児童委員協議会、小坂井区福祉会、篠束福祉会、新町福祉会、八丁福祉会、古当福祉会、小坂井中学校地区内の介護保険事業所、社会福祉協議会（福祉相談センター）

※小坂井中学校区内介護保険関係事業所

特別養護老人ホームあおい、地域密着型特別養護老人ホームれんげそう、地域密着型特別養護老人ホームいちごの花、小規模多機能ホームれんげそう、グループホームあおいの里、グループホームれんげそう、ケアハウスパレス葵、住宅型有料老人ホーム マ・コdeホーム八丁、住宅型有料老人ホームあんじゅ宿、さくらんぼ訪問介護事業所、NPO法人たすけ愛・手をつなごう会、菜花訪問介護ステーション、ヘルパーステーション アグネス、訪問看護ステーションかえで、訪問看護ステーションさつき、訪問看護ステーションともに、訪問看護ステーションnalu、機能訓練特化型デイサービスまんまる、小坂井町デイサービスセンター、

小坂井のリラ、さかえの郷 デイサービスセンター宿、さくらんぼデイサービス、デイサービスかえで、デイサービス蔵「からだ」、デイサービスさくら家、デイサービス郷美の杜、デイサービスセンターぬくもりとんぼ、デイサービスれんげそう、ふるり咲楽、ショートステイいちごの花、福祉用具貸与事業所あおやま、あおいの里居宅介護支援事業所、居宅介護支援事業所こざかい、ケアプランセンターかえで、ケアプランセンター四ツ谷、さくらんぼ居宅介護支援事業所

6 訓練内容

特定の地区内で行方不明高齢者周回範囲を設定し、行方不明高齢者役は規定時間まで自由に歩き、情報配信の実施とその情報を基にした参加者による声かけを行う。

7 実施方法

- (1) 認知症のある行方不明者が発生したことを想定し、事前に設定した地区を行方不明者役が歩く。市は、高齢者地域見守りネットワークにより行方不明者情報の配信を行い、行方不明者役の搜索協力を呼びかける。
- (2) 地域の支援者は、配信された情報をもとに行方不明者役を搜索し、発見及び保護に努める。
- (3) 見守りキーホルダー周知のためキーホルダー所持も想定し、所持の場合の対応も確認する。
- (4) G P S による備えの周知のため G P S 携帯も想定し、携帯している場合の対応も確認する。
- (5) 不測の事態に対処するため、また訓練の状況を記録するため、行方不明者役に追尾係を置く。
- (6) 市は、協力機関等との連携により行方不明者役の情報収集に努め、訓練参加者に随時最新の情報を配信するとともに、行方不明者役が発見・保護されたことを確認ができ次第、速やかに搜索終了の情報を配信する。
また、顔写真を事前に提出した人が行方不明になったことを想定し、顔写真も配信し訓練を実施する。
- (7) 訓練当日の参加者の役割等については、別に定めるものによる。
- (8) 認知症の理解を深める講座を行うことで、参加者の認知症に対する理解を深める。
- (9) 訓練終了後、感想や意見交換のための反省会を行う。

8 事前準備事項

地区選定、コース決定、周知 P R（メール配信）、警察への協力依頼、訓練必要物品の手配、など

9 当日のスケジュール

別紙のとおり

模擬搜索訓練の概略図



当日の概略スケジュール

時間	内容	
13:00~	受付	
13:30~13:35	介護高齢課挨拶	
13:35~14:15	訓練の概要と目的、搜索の流れの説明等	
	Aグループ	Bグループ
14:20~14:50	実践声かけ訓練	認知症の理解を深める講座
14:50~15:00	休憩	休憩
15:00~15:30	認知症の理解を深める講座	実践声かけ訓練
15:35~16:15	まとめ、感想、アンケート記入等	まとめ、感想、アンケート記入等
実践声かけ訓練	・ 実際の搜索に近いかたちで訓練を行う。 ・ 訓練参加者は、それぞれ実施場所の範囲内で、配信メールで送られる身体的情報を参考に行方不明者の搜索を行う。 ・ 行方不明者役(3人)は搜索訓練範囲内に座っているor歩いている状態にいる。 ・ 発見し次第、声かけを行う。 ・ 可能な範囲で仮想警察署へ通報していただく。 ・ 福祉相談センターの職員も訓練参加者に同行し、声かけの支援や疑問点に対応する。 ・ 行方不明者役は見守りキーホルダーを携帯し、参加者は行方不明者が所持している場合の対応も確認する。 ・ 雨天の場合は、館内で実践声かけ訓練を行う。	
認知症の理解を深める講座	福祉相談センターの職員を講師に招き、「認知症」についての基礎知識を学ぶと共に、地域の中で認知症と思われる人と接する時の対応方法や認知症の予防策等、認知症に対する理解を深めるための講座を行う。	